

# 脱原発と私たち一講演と討論の会<第25回>一

日時：2019/1/26（土）14:00-17:00

会場：区立 宮坂区民センター 中会議室（世田谷線 宮の坂駅下車）

講演：「隠されつづけてきた原発のほんとうの怖さ」小倉 志郎

1941年東京生れ。慶應義塾大学工学部機械工学科卒、同大学院修士修了。日本原子力事業入社、福島第一原発建設に携わる、35年間原発の設計・建設・試運転・定期検査ほかに従事、著書『放射能ってなんだろう？』他

安倍首相は「安全性が確認できた原発は再稼動させる」と言い、原子力規制委員会の田中俊一委員長（当時）は「原子力規制基準を満たしているかを審査するが、満たしたからと言って、安全性を保証するものではない」と言いました。既に、審査に合格して再稼動をした原発がありますが、なんと誰も安全性を保証していないのです。しかも、審査に使われた原子力規制基準の中に原発の「安全」とはどういうことかの定義すら書かれていません。一方、2011年3月11日に起きた東電福島第一原発の事故は、事故後既に8年近くが過ぎましたが、原発から放出された放射能で汚染された広い地域において、沢山の人々が現在も新たな被ばくという被害を受けつつあり、事故はまだまったく終息していない状況です。

私たちはいったい何を頼りにして、原発が安全なのか、危険なのかを判断したら良いのでしょうか？今後、原発をどうしていったら良いのでしょうか？今回は、みなさんが判断をする上が参考になる「原発のほんとうの怖さ」についてわかりやすくお話をしたいと思います。

原発は複雑なシステムですが、設計や技術の専門知識がなくてもわかりやすくお話するつもりですので、原発に関する専門知識の有無を心配されずに聴きにおいてください。

**討論 「脱原発を考える」 資料代など：500円**

**主催：「脱原発を考える会」 協力：「チーム世田谷」**

会の世話人＝児玉三枝子：小西怜実：宇都宮和代：桑折恭一郎